

# 深イ～話!!

No.121

——「お金以上のもの」より——

パパ、ママ、小学生の三姉妹の仲良し五人家族。

ある日、ママが交通事故で亡くなってしまいました。

慣れない家事にお父さんも奮闘。卵焼きを焦がしたり、洗濯物を皺だらけにしたり…。

失敗しながらも笑顔で幼い三姉妹を育てます。

そんなお父さんのささやかな楽しみは、お風呂に入りながら唄うこと。

いつも「カラオケボックスで思い切り唄いたいな～」と言っていました。

お父さんの誕生日の数日前、姉妹は三人で集めた貯金箱を持って、通学路の途中にあるカラオケボックスへ。「予約できますか？」受付にいた若い女性店員は、怪訝な顔で店長を呼びます。



この店長さん、いつも通学途中の三姉妹を見守っていました。

「お母さんは？」

「死んじゃった！お父さんしかいないの…」

「お父さんの誕生日会をしたいんです！」

現在と違い当時のカラオケボックスは高かったのです。持参したお金では到底足りません。

全てを悟った店長は、「わかりました。協力しますよ」と言ってくれました。

誕生日会当日、早くから個室を貸してくれたので、三姉妹揃って飾り付け。

時間が来たのでお父さんと呼びに行く三姉妹。幼い三姉妹とお父さんの誕生日パーティーが始まります。

お父さんも唄ってビールを飲んで…。三姉妹もアニメの曲を唄ったり、踊ったり、楽しい時間を過ごします。

パーティーが終わって帰り際、お父さんはフロントへ精算に行きます。お父さんも、三姉妹の持参した金額で不足なのは、もちろん知っていたのです。

そこで対応した店長さん、

「お会計は終わっています。娘さんからいただきました」

「足りないでしょう？」

「いいえ！充分いただきました。そしてお金以上のものを私たちも娘さんからいただきました。こちらこそ、ありがとうございます」

楽しそうに帰る家族を見送った後、店長と従業員は号泣。

お父さん、三姉妹、店長と従業員、みんな幸せな時間を過ごしたそうです。